

平成 24 年 2 月 18 日

一人一票実現国民会議からのお知らせ

この度、「一人一票の国民投票で首相候補を選ぶ会」が、全政党に向け、国民投票で首相候補を選ぶ制度の立法に賛成してほしいと呼びかける新聞意見広告を出されました。

その意見広告には、選挙権の住所差別の事実を示す「全国不平等マップ」や、最高裁裁判官国民審査による一人一票実現のための「切り抜き」が、掲載されています。

私ども一人一票実現国民会議は、その設立趣意書にあるとおり、国民が参政権の一つである国民審査権を適切に行使できるよう、そのための公の情報を広く国民に提供していくことを目的としております。

そして、私ども一人一票実現国民会議が広く提供している情報（「全国不平等マップ」や「切り抜き」を含む）を、多くの方が様々な活動において利用し、国民に対して情報が伝わる機会が増えることは、基本的に、一人一票の実現に資するものと考えております。

また、「一人一票の国民投票で首相候補を選ぶ会」の賛同者には、私ども一人一票実現国民会議の発起人・賛同者の方が含まれていますが、両者は別の団体です。私ども一人一票実現国民会議の発起人・賛同者・サポーターの方々が、当国民会議以外の活動に関与されることは、当然にあり得ることですが、念のため申し添えます。

なお、報道によれば、2013 年の衆議院議員の任期満了を待たずに、衆議院が解散され、衆議院議員総選挙及び最高裁裁判官国民審査が行われる可能性も否定できません。

私ども一人一票実現国民会議としては、一人一票の早期実現を目指し、引き続き、発起人・賛同者を含むサポーターの協力により、国民が次回の国民審査で適切に参政権が行使できるよう、どの最高裁判事が一人一票に賛成の意見であり、どの最高裁判事が一人一票に反対の意見であるのか、という公の情報を、広く国民に提供してまいります。

以上